

子どもの育ちに関わる全ての保育者に向けて

保育のすてっぴ ワン!



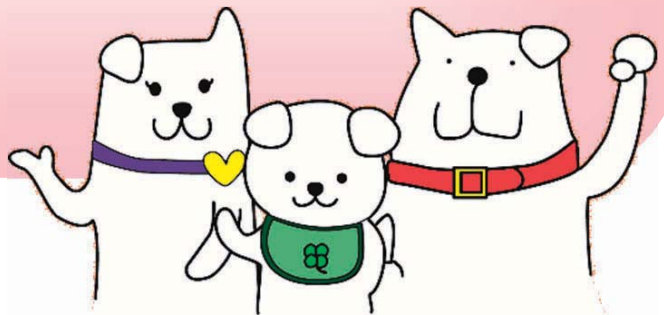
©大館市

秋田県大館市

福祉部子ども課・教育委員会

平成29年3月

大館市は
未来を担う子どもたちが
豊かな体験を通して
人間的基礎力を育んでいくことを
願っています。



目次



保育のベーシック

- 心がけたい身だしなみ・・・・・・・・・・P2
- 心がけたい基本的態度・・・・・・・・・・P8
- 望ましい姿勢・・・・・・・・・・P12



保育のスタンダード

- 豊かに創造する保育・・・・・・・・・・P20
- 環境を通して行う教育・保育・・・・・・・・P22
 - 環境を構成するときの視点
 - 環境構成のポイント



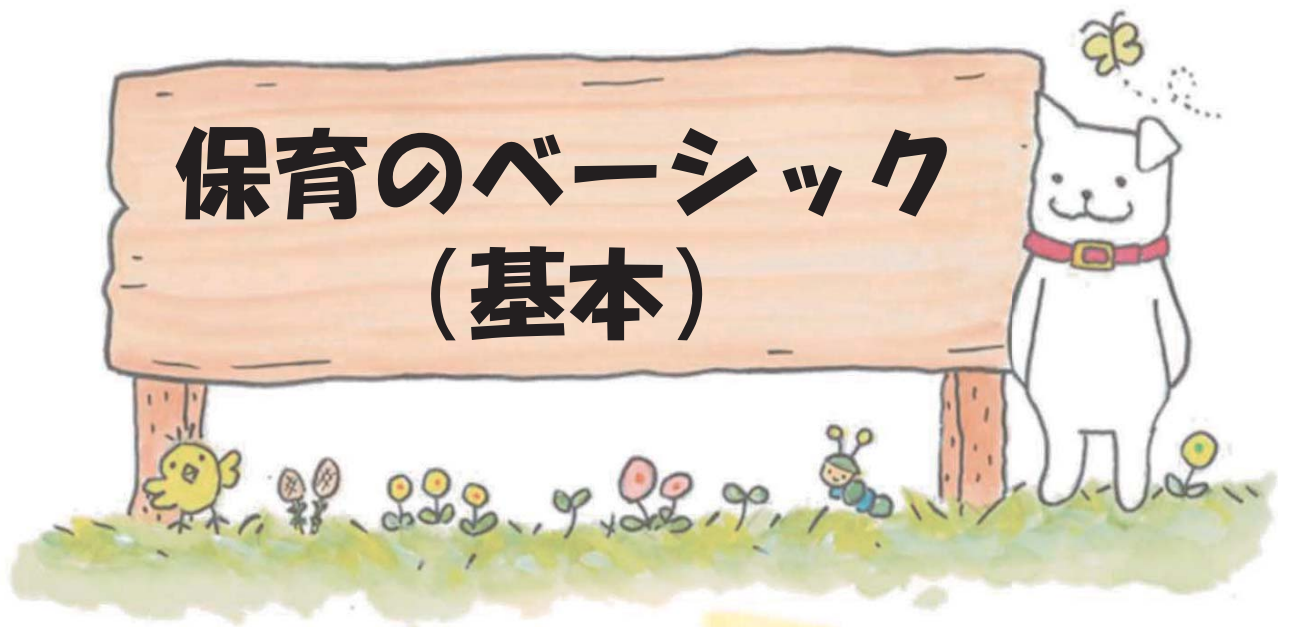
教育・保育に携わる人は…

倫理観に裏付けられた知性と技術を備え、豊かな感性と愛情をもって、子ども一人一人の人権を尊重し、関わっていかなければなりません。

教育・保育に携わる者一人一人が「養護を基盤とし発達の連続性を見通した教育・保育」を理解し、実践できる保育力をつけていくことが求められています。そこで、どの施設であっても質の高い教育・保育が提供できるよう均一化を図るために、見える化した研修用ハンドブックを作成することにしました。

どの施設においても、ともに大館の財産である子どもたちを育てるという同じ目的に向かって、教育・保育をすすめてみましょう。





保育も子育ても愛情が基本



子どもにとって保育者が一番の環境です
～心がけたい身だしなみ～

清潔感のある服装・頭髪
ユニフォームは園の顔



まずは、
第一印象から

はずかしい!

胸元のあいた服

背中に見える服



ズックの履きつぶし



転んだら大変!

長くて引きずるすそ

だらしない印象を与えてしまうのは残念!

フード付きの服
(子どもも NG)



思いもよらない
事故やけがに！



おんぶなのに長い髪
(子どもの顔にかかっている)

長い爪
マニキュア
石のついた指輪



引っかけたの怪我や
落ちたものを誤飲する
危険が！



ネックレス
イヤリング
ピアス

保育者自身が
乳幼児にとっての
安全な存在に！

給食時

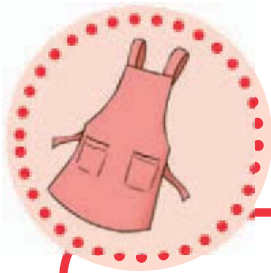


三角巾から
はみ出した髪
(何のための三角巾?)



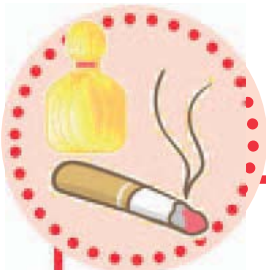
遊びのエプロンの上に
給食のエプロンを重ねる
(不衛生)

感染症や衛生面には、細心の注意を！



出勤時 ⇒ 園に来てからエプロンをつけましょう。

退勤時 ⇒ 園を出る前にエプロンを外しましょう。



たばこや香りのきつい香水、洗剤は避けましょう。

嫌な
匂いだなあ！



携帯電話は、あくまで緊急連絡用として使用しましょう。

保育者の日々の心持ちや言動が
子どもに伝わります

～心がけたい基本的態度～



笑 顔

**明るい
あいさつ**

**ていねいな
言葉づかい**

子どもは接している保育者の言動をよく見て真似します。良いモデルになりましょう。



名前をきちんと呼ぶことは、人権尊重の第一歩です。



呼び捨て
「〇〇～」 愛称



「〇〇くん」「〇〇さん」
「〇〇ちゃん」付けて呼ぶ

子どもにもプライドがあります。周りの子どもも委縮します。



大声で呼びかける
叫ぶ、注意する



近くに行って 目を見て
優しい声で



マイナスの言葉は、自己肯定感を下げます。



禁止・否定・指示・
命令・詰問言葉
「だめっ！」
「～しないで！」
「～しなさい」
「なんで～なの？」



受容的・共感的な言葉かけ
「そう～なのね」
「こうしたかったのね」
「～いいと思うよ」



どうすればよいのかを、具体的に伝えます。



くどくど長い注意・説明



短く分かりやすい注意・説明

子どもに対して



子どもの安心感につながります。



ムスツとした表情、無表情、不機嫌



笑顔！！

安全・安心が第一です。子どもから目と心を離さずに。



1カ所に集まっての
保育者同士の世間話



子どもと一緒に
遊びましょう



子どもの目の高さで、子どもの視点でものを見ましょう。



子どもを見下ろす



姿勢を低くして
子ども目線で





保護者に安心感を与える信頼関係づくりの第一歩です。



顔を見ない（低い声）挨拶



目と目を合わせた明るい挨拶



特定の保護者との慣れ合いおしゃべり



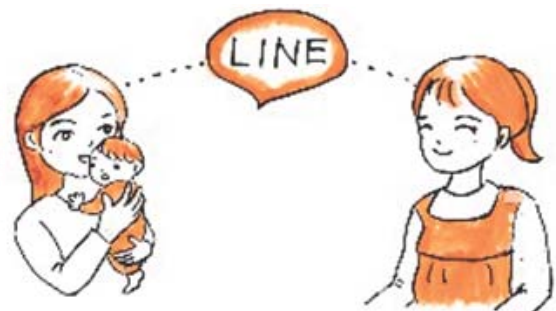
節度をわきまえた関わり

NG



園外への子どもの個人情報の流出
（LINE、フェイスブック等 SNS での発信）

守秘義務あり！！



児童福祉法第 18 条 22

「保育士（保育士に限らず）は正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない」（違反した場合の罰則あり）

こんな保育者は すてき
～望ましい姿勢～



すぐに
報告

ほう

互いに
連絡

れん

何でも
相談

そう

園はいろいろな職種の人が一緒に仕事をする場。それぞれの立場や経験年数が違います。子どもが様々な人と関わり、心を通わせながら成長していくためには、職員が組織の一員として共通理解を図りながら、保育することが大切です。

✿ 保育に向かう姿勢 ✿

(1) 保育者は子どもの「安全基地」

○ 温かい信頼関係をつくりましょう

「あなたは大事な存在だよ」とのメッセージを贈りましょう。

スキンシップ・温かいまなざし・言葉かけ

○ 子どもを肯定的に見ましょう

頭ごなしに否定しない。

褒めて、認めましょう。



○ 子どもの思いや行動を受けとめ、寄り添いましょう

○ 一人一人の子どもと
直接触れ合い、遊びの
楽しさを共有しましょう



(2) 主体性を引き出す「援助者」

保育者が子どもと同じ地平に立って遊びを楽しむ輪に入るからこそ、子どもの折々の心持ちを感知することができます。だから、機を見て子どもたちに委ね、そこから身を引くこともまた、遊びを援助することになります。

秋田喜代美 幼児教育じほう（2016・5）



○発達を知りましょう

発達には旬があります「イヤ、ダメ、自分で」けんかも発達のひとつととらえましょう。

未満児でしばしばみられる「かみつきの」は、単に発達のひとつとしてとらえるのではなく、その行動の背景や原因にしっかり向きあってあげる必要があります。



○遊びたいと思えるような環境の構成をしましょう

子どもの中に育ってきたものに基づいて…。

○子どもの思いを尊重した言葉かけや援助をしましょう

①見守り

すぐに手を出さず、子どもの葛藤の原因をみきわめ、いつでも足場かけができるように注視し見守る。

②足場かけ

状況を整理・確認して解決策への見通しがもてるようにする。子どもの思いや意志の確認をする。方向付けはしない。

③省察促し

「どうしてそうなるのかな？」

「どうしたらいいのかな？」

「どうなっているんだろうね？」などと質問して、子ども自身で、または、友達同士で考えるよう促す。

○3Hの言葉を積極的に使いましょう

「ほめる・はげます・（視野を）広げる」

○他の子と比べないで、その子自身の成長を認めほめましょう

○子どもの自己決定権を保障しましょう

「どうする？」「どっちがいい？」子どもに任せることが大切。

❀初めて保育をする方へ❀

みんな同じ“初めて”がある

どうすればよいか分からないのは
みんな同じです



○園の方針や目標を知りましょう

○子どもの発達を理解しましょう

○まわりはキャリアや個性を持った先生方がたくさんいます。すてきな保育者の言動を真似てみましょう

○初めてだから新鮮な目で見、新鮮な心で受け止められることもたくさんあります

○「明るさ」「はつらつさ」は子どもにとって一番の魅力です

○失敗も経験のうち

なぜ失敗したのか、一人で悩まずに周りとは相談しながら、次への改善を見つけていきましょう。

知らないから教えてもらうのは当たり前、注意してもらえるのも財産。

遠慮せず 『教えてください』 と言おう！

先輩はいつでも待っています♡

❀少し慣れてきた方へ❀

園は“一つのチーム”です

みんなでいろいろな意見を出し合い、気持ちを一つにしながらいよいよ良い保育をめざしましょう

それが、より良い子どもの育ちを支えることにつながっていきます

○経験年数に関係なく何でも言い合える関係づくり（同僚性）が大切です

『自分の保育観に固執しない』

『人の話に耳を傾ける』

『互いに良さを認め合う』

○園の様々なことや自分の知っていることを互いに 伝え合いましょう


○「毎年のこと」「いつものこと」という感覚ではなく常に子どもと同じ喜びを持つ感性を持ち続けましょう



❀ 保育参観でのマナー ❀

『百聞は一見にしかず』

向上心をもって様々な研修会へ積極的に参加しましょう

- 一生懸命保育している人に敬意を表し、視線を低くして、子どもの表情に目を向け、耳を傾けましょう
- 子どもや、保育中の保育者に話しかけたり、保育に参加したりするのはNG！声が聞こえるくらいのところで黒子に徹しましょう
- 子どもの姿、遊びのプロセスと保育者の関わりに着目して参観しましょう
- 勝手にノートや棚、部屋を開けてのぞかないようにしましょう
- 撮影は許可のあった時だけにしましょう 
- 子ども達に威圧感を与えないような参観場所を選びましょう





保育は創造的な仕事

保育は遊びを基盤に
子どもと保育者が主体的に創り出すもの



豊かに創造する保育

A 発達を理解と援助

保育者は、子どもの発達を知る専門家。

育ちを通して、発達を引き出す名人に！！

保育課程・指導計画に基づき、子どもの育ちを見通し、その成長・発達を促し援助します。

B 生活を助け、生活を創る

保育者がまず生活者としての知識や技術をもって。生活者としてのモデルであり、自立に導く水先案内人！

子どもが自ら生活していく力を細やかに助け豊かな生活文化を創生します。

C 遊びの創造と実践・展開

保育者は遊びの名人！たくさんの遊びの引き出しを持って、子どもと共に、遊びそのものの楽しさに浸って！

子どもの遊びを豊かに展開していくために、様々な遊びや表現を考え実践します。



D 環境の構成

どんな学びにつながっていくのかを踏まえながら、子どもが環境に主体的に関わっていくよう支える役割を！

物的環境・人的環境を生かし、保育の環境を魅力的に構成し、子どもの興味・関心を引き出します。



E 人との関わりを育む

保育者は「人と関わるのが大好き」なはず。人と関わり共に生活することの心地よさや嬉しさを伝えて。

人と関わる力を醸成し、子どもの人間関係の土台を築きます。

F 保護者への相談・援助（子育て支援）

どの保護者もがんばっています。

保育者がまず、理解者になってあげて！！

保護者などへの相談・援助を通し、子育ての不安に寄り添い、喜びを分かち合います。



G 未来大館市民の育成（ふるさとキャリア教育）

小学校、中学校、高等学校、大学等すべての教育機関と連携し、子ども一人一人の「育ちと学び」をつなげ、自立の気概と能力を育てる目的を共有します。

環境を通して行う教育・保育

子どもは、身近な環境に興味や関心をもち、自ら関わり遊び始めます。その中で、試行錯誤したり、探究したり、友達と力を合わせたりしながら遊びを創りだしていきます。

乳幼児期は、人や物との直接的・具体的な関わりが重要であることを踏まえて、環境を構成することが必要です。その際、子どもに伝えたいことや保育者の願いを、直接子どもに教えるのではなく、環境の中に織り込んで、生活や遊びを通して引き出していくことが求められます。さらに、子どもが、満足感や充実感を味わい、発達に必要な経験を積み重ねられるよう遊びの実態をとらえ、子どもの気付き、発想や工夫を大切にしながら子どもと共に環境を再構成していくことが大切です。

環境（人・もの・こと）

保育者や子どもなどの人的環境・施設や遊具等の物的環境・自然や社会の事象等の環境



❀環境を構成する時の視点❀

○安全で保健的な環境

- 子どもの視線や動線に配慮した安全で安心な園舎、園庭の環境整備
- 危険な場所、もの、行為等がわかるような提示
- 地震等の緊急の際、危険のないように整理整頓、落下物、転倒物への安全対策

○子ども自ら関わる環境

- 見通しをもって行動し、生活の仕方が分かるための提示



- ものの配置、遊具、素材、用具の置き場所や置き方の工夫
- ものや遊具は多様性があり、多様な用途の使い方が許され、子どもが選択できる環境
- 今できていることより、少し背伸びしてできる環境
- ゆっくり、じっくり、たっぷりが保障される時間配分
- 年間を見通して植物を栽培したり、自然物を活用したりできる構成

○温かな雰囲気と生き生きした活動の場

- 安心してくつろげる魅力的な空間、パーソナルスペースの設置
- 季節感を取り入れた自然物や子どもが手掛けたものを構成
- 安心して遊べる場所、体を十分動かしたり、挑戦したりできる場の構成



○人との関わりを育む環境

- 保育者が身近なモデルであることを自覚し行動する
- 複数の友達と遊べる場を意識した遊具やコーナーの設定
- 同年齢児・異年齢児・保育者や地域の人との交流の機会をもつ



✿環境構成のポイント✿

乳児

＜安心できる環境＞



…肌の温もりと優しい声…



…目線を合わせ
語りかけながら…

くつろぎの場
温かな雰囲気
安心感
応答的な関わり



…見守りながら
ことばを添えて…



…パーソナルスペースで
気持ちをリセット…

乳児

＜好奇心をくすぐる・経験を広げる環境＞



…「いい音がするね」…



…「何があるかな？」
好奇心を十分満たす…



…「いないいないばあ～」
楽しいことはくり返しくり返し…



…一人一つの確保を…



…「何だろう」さわってたしかめて…

五感
探索
手先指先
手触り
(木製・布など)

1歳児

<思いが満たされる環境>



…少人数で安心して、熱中して
遊べるコーナー…



…子どもと同じ目線で…



…「見て！見て！」…

コーナー
探索
やりとり
指さし



…動きの幅を広げて…

1歳児

<思いが満たされる環境>



…大好きな遊びやものは、常に身近に…



身振り
手振り
見立て
自然

…共に喜び感動して…



2歳児

<やってみたいが保障される環境>



…夢中で遊んでいるうちに、いつの間にか生活技能が上達…

…できなくても「できる」の気持ちを尊重して…

「自分で自分で」
意思・欲求
手先指先



…手作りのアシスタントグッズ…

…「一人でできるもん」が自信に…

2歳児

＜やってみたいが保障される環境＞

見立て
つもり
象徴機能
運動機能



「ぼくも！わたしも！〇〇マン」
…My 玩具の数の確保…



「ハイ お注射ね」
…生活体験を再現して…



…援助しながら 少し冒険も
チャレンジ！…



「この木あったかいね」
…周りの子との関わりが
やがて友達へ…

3歳以上児

＜幼児の関心を高める環境＞



…図鑑や虫めがねを使って…



…重さを目と手で確かめて…



…知的好奇心をくすぐって…

比べる
計る
調べる
色・形・重さ
大きさ
におい
認識力
思考力



…楽しみながら 言葉あそび…

3歳以上児

〈幼児の世界を広げる環境〉



…大館の街並みを背景に…

宇宙
地球
日本
地域
近所
認識力
社会性



…雪で作った地球儀
雪国ならではの経験…



…地域との人つながり…



…地域の人から感謝されて…



…100円ショップでお買い物
社会体験…

3歳以上児

自然
動植物
アート
不思議
おもしろい

＜幼児の興味を深める環境＞



…少年自然の家での自然観察…



…自然と触れながら
思いきり体を動かして…



…試行錯誤の繰り返し…



3歳以上児

＜子どもの自由な表現を支える環境＞



…仲間と発表する場…

遊び＝表現
豊かな感性
想像力
創造力
構成力
素材
教材
分類



…日頃から子どもが選べる
多様な選択肢を…



…ダイナミックな表現活動も…

3歳以上児

〈園庭の環境〉



…園庭の隅から隅まで
知りつくして…

自然体験
起伏
模倣

…年齢によってはちょっと
アドベンチャー、
ダイナミックな遊びも…

…家庭での体験を再現して…



…キャンプごっこ…



3歳以上児

<ふるさとの原風景を心に刻んで…>

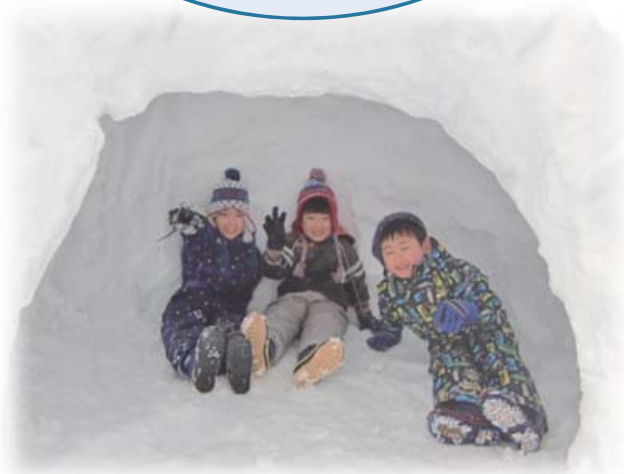


…生活に密着した体験を…



…土の匂いや温かさを
感じて…

季節感
風物詩
暮らし・味わい
祭り・行事



…雪国ならではの体験…



…大館市の伝統行事
アメッコ市の枝アメ作り…

発達に応じた手づくりおもちゃ・遊具

感触マット(スポンジ、プチプチなど)



さまざまな感触を楽しめます。

マラカス



容器にビーズを入れ、鳴らして遊びます。中に入れる素材を替え、音の違いを感じることができます。

ひも通し



穴のあいたフルーツに、はらぺこあおむしに見立てた紐を通して遊びます。

テーブルとイス



牛乳パックに新聞紙を詰めた物を形に整え、布や紙を貼り、ままごとや絵本コーナーで使います。

車(救急車、パトカー、消防車)



牛乳パックに新聞紙を詰め、車の形に組み合わせ、フェルトをかぶせて装飾します。

サイコロ積木



積み木に油性ペンで絵や文字を描き、ひらがなを並べて単語を作ったり、数字や絵を探したりして遊びます。

キッチンセット



段ボールや本物の蛇口を使って…。

パズル



折り紙入れと制作台



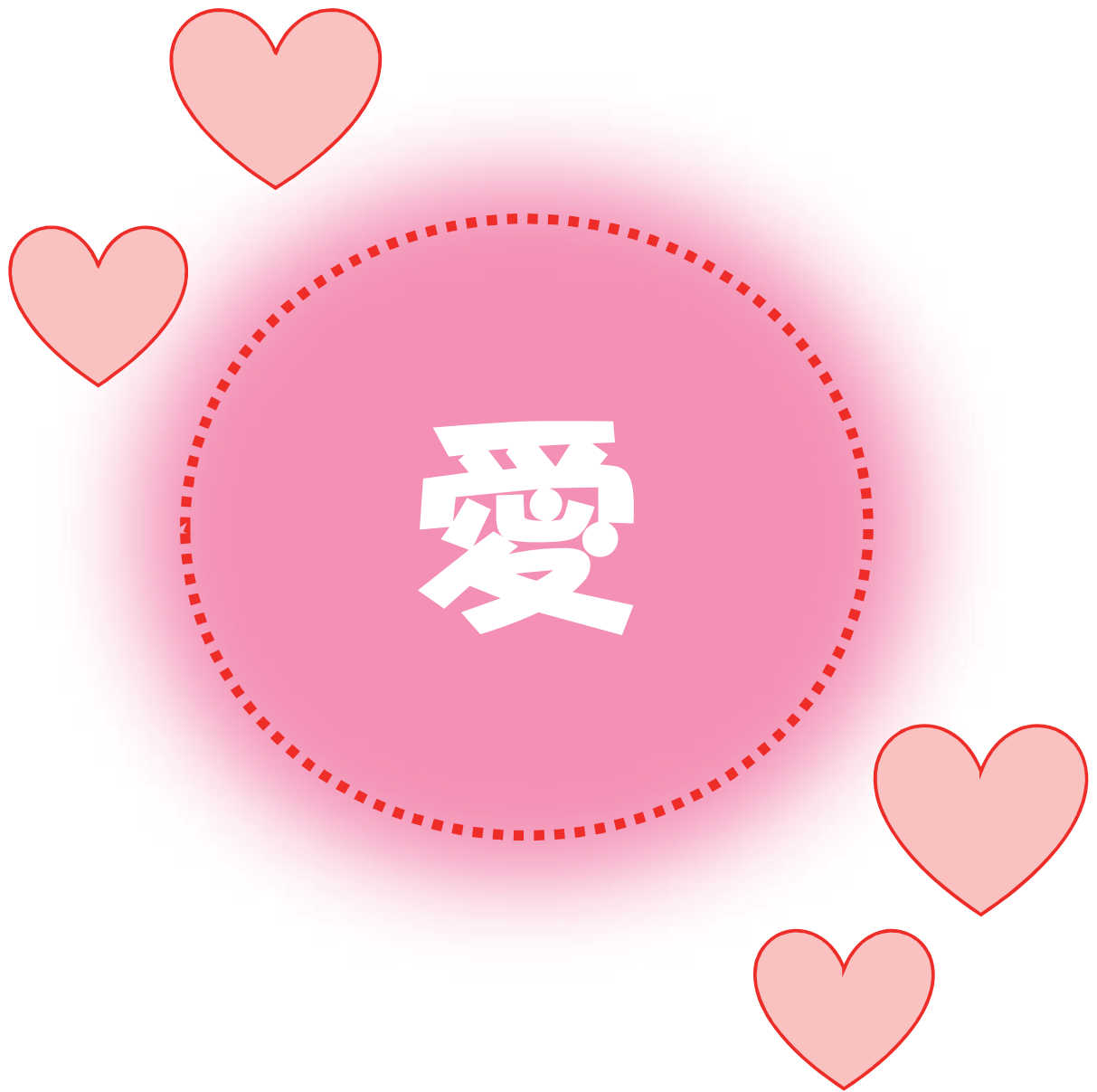
段ボールや空き箱で作った一人用の机。折り紙入れもあり、じっくりと折り紙を楽しめます。

小物入れ



空き箱にスポンジを貼りつけたハサミ立てや鉛筆入れ。取り出しやすいようにしています。

牛乳パックに絵を描き、絵合わせをして遊びます。



この仕事を選んだのは
子どもが大好きだから！
悩んだとき、迷ったときは
原点に戻りましょう！

引用・参考文献

- ・ 保育所保育指針解説書 厚生労働省
- ・ 幼児理解と評価 文部科学省 平成22年7月 改訂版
- ・ まごころの保育 堀合文子のことばと実践に学ぶ 小学館
- ・ 保育と実践の創造 吉村真理子 ミネルヴァ書房
- ・ 幼稚園じほう (2016. 5月号)
- ・ 子どもが変わる! 愛情保育35のメソッド 中辻祥代
- ・ 子ども主体の協同的な学びが生まれる保育 大豆生田啓文
- ・ 見守る保育 藤森平司 学研
- ・ 内田伸子氏 お茶の水女子大学名誉教授
平成28年10月17日 大館市講演会より
- ・ 天野珠路氏 日本女子体育大学教授
平成28年12月20日 横手市講演会より

編集委員

| | |
|--------------------|----------|
| 大館市教育委員会学校教育課 課長 | 山本 多鶴子 |
| 大館市福祉部子ども課 課長補佐 | 日景 恭子 |
| 幼児教育アドバイザー (教育研究所) | 石川 恵美子 |
| 連携アドバイザー (子ども課) | 北林 由香 |
| 大館市立城南保育園 主任 | 高橋 敦子 |
| | 茶谷 洋恵 |
| 大館市立城南保育園分園 主任 | 鎌田 晴美 |
| 大館市立有浦保育園 主任 | 小笠原 しゅう子 |
| | 奈良 郁子 |
| 大館市立扇田保育園 主任 | 関 真奈美 |
| 大館市立たしろ保育園 主任 | 金谷 美穂子 |
| | 佐藤 市子 |

挿絵 小笠原 しゅう子



大館市立保育園研究推進委員会

本誌は、平成28年度文部科学省「幼児教育の推進体制構築事業」
秋田県「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」により作成しています